

2014.4号 こんにちは！カンダとご縁のあった方にお届けします



酢豚にパイン



中国料理店・外食産業など飲食店に役立つ情報をピックアップしました

★こんにちは、カンダの神田智昭です★



売れている人気商品紹介コーナー

カンダの製菓 新ブランド『K-Sweets』発進！の巻

今回ご紹介させて頂くのは、カンダの製菓ニューブランド「K-Sweets」です。今までの製菓紹介アイテムではご満足頂けない部分もあったかもしれません。そんな部分を解消すべく、皆様に発信していくのがカンダ、製菓部門のニューブランド「K-Sweets」なのです。



「K-Sweets」は、そのロゴにある通りお客様の“進化するお菓子づくりのために”をコンセプトにアイテムをチョイス・作製し、既に第一段のカタログは発刊済みです。第一段のカタログでは「Ateco」の商品を中心展開しています。



それでは、「Ateco」の商品についての内容に少し触れさせて頂きます。

◆ポイント①『口金について』

口金の種類は群を抜きます。サイズまで含めますと、ざっと250種以上に上ります。使用して頂く方に、妥協を許しません。

◆ポイント②『絞り袋について』

自身のお客様からその感想を頂く事が出来ました。綿にポリウレタン加工を施してある「ワンダーバック」シリーズに関してです。“基本素材が綿なので、良く手に馴染んで使用出来ている。渴きが早いので、衛生面でも助かっています。また、

業務サイズが豊富な事もありがたい”との声を頂く事が出来ました。

「K-Sweets」の第一段としてチョイスした『Ateco』をお客様にススメル自信に繋がった場面がありました。

この『Ateco』、生産国が日本を含めた7ヶ国に渡っている事は、コスト面・機能面を追及した末の事という事が出来ます。



この案内が届く頃と時期が重なると思いますが4月2~4日、東京ビックサイトで開催されるファベックス展示会にて「K-Sweets」をお披露目、周知を図ってまいります。新しい商品も順次追加の予定です。

ちなみに、カンダオリジナル商品は「Dolce series（ドルチェシリーズ）」のネーミングで売り出します。

Dolce series ドルチェシリーズ

是非、今後もカンダの製菓ニューブランド「K-Sweets」にご期待下さい様、お願い致します。

■執筆担当者：中川



株式
会社
カンダ

新潟県燕市杉柳 912 (流通センター入口)

Tel : 0256-63-4541 (代表) Fax : 0256-64-2960

E-mail : info@kankuma.co.jp <http://www.kankuma.co.jp/>

何事にも一生懸命!!

カンダは中国料理店・外食産業を

応援させていただき40年!

カンダスタッフが新潟の春をご紹介！

みなさんこんにちは！季節も移り、新潟も暖かくなってまいりました。4月になるとあちらこちらで桜の開花の声が聞こえてきて、花見のシーズンになりますね。花見は春の訪れを寿ぐ日本独自の風習だそうです。

花見といえば、こちら新潟県で一番有名なのは、上越市にある高田城の高田公園ですが、私の地元にもこの桜の季節に誇れる伝統行事があります。それは燕市分水地区の大河津分水堤防の桜並木を舞台にした、全国でも珍しいと有名な「分水おいらん道中」です。これは、絢爛豪華な衣裳に身を包み、高さ15cmもの三枚歯黒塗りの高下駄を履いた『信濃』『桜』『分水』の3名の“おいらん”が、総勢70名ほどにもおよぶ「手古舞・新造・かむろ・舞妓」などの付き人を従えて練り歩くものです。道中でおいらんが披露する独特の歩き方『外八文字』は一番の見所となっており、鮮やかで煌びやかで賑やかなとても見応えのある行列は、満開の桜並木の下で見ると、とても格別な時間が過ごせます。

ちなみに“おいらん”は募集選考で決められており、全国から毎年100人を超える応募があります。

募集要項には【学生を除く年齢18歳以上の女性で健康で体力に自信のある方】【身長155cm以上170cm未満の方】【既婚未婚住所は問いません】とあります。

小さい頃から見てきた“おいらん”ですので、私も一度はおいらん姿を味わってみたいと思ったものでしたが・・・。

みなさんも、機会がありましたら是非見にいらして下さい。



■執筆担当者：平野

ビジネスマナーの基本

お客様を訪問した際の席次について

セールスなどお客様を訪問した際に、まず応接室に案内されて『お掛けになってお待ち下さい』と言われ、商談相手を待つ場合がありますね。当然ながら、応接室などには上座と下座がありますので、その際、気になるのが席次です。

一般的には入口に近い下座に居る場合が多いのですが、案内された際に上座を勧められて『どうしたものか・・・』と迷ったり、ならば最初から上座に居てみようか？などと実は私自身、常識をはずれて、しばらく迷走してきました。

そこで！あらためて申し上げます。ビジネス上では取引先のお客様を訪問して応接室で待つ場合のマナーはおおよそ以下の通り。

① 入口に近いところで立って待つ。

② 『お掛けになってお待ち下さい』と言われた際には下座に浅めに腰掛けて待つ。

③ 通された際に上座を勧められても、ひとまずは下座に控えてみるのも良い。もちろんケースバイケース。

④ 商談相手が入ってきて、更に上座を勧められたら固辞し過ぎずに勧められた場所に着席してよい。

いかがですか？こんな感じになると思います。とはいっても、応接室の配置も会社によってさまざまですし、これらを踏まえたうえで、臨機応変に柔軟に対応する事こそがとても大事なことです。

■執筆担当者：南波

社長のコラム



桜の開花宣言が聞こえる季節となりました。私は、この4月5月が大好きです。季節の変わり目です。体調など崩さない様にがんばっていきましょう。

毎年3月、燕市では、ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクールというものを開催しています。このコンクールは、全国的に誇り得る金属加工集積を活用したモノづくりにこだわり続けてきた燕市で、グローバル化で一層多様化している消費者ニーズに対応した企画力、デザイン力の充実したオリジナリティー溢れる製品を表彰して、生活文化の発信、資質向上に貢献することが目的です。

そのコンクールに弊社商品が2点選ばれ受賞しました。

一つは、金属洋食器・金属ハウスウェア部門で「置いてはかかる計量スプーン3本組」です。この商品は、和食が無形文化遺産に登録され「うまみ」が注目されてダシを探ることを自分でする人が多くなりました。せっかくダシで料理をするのですから調味料も大さじ、小さじと計量スプーンが必要になるのです。その時、置いて計れるといいな！という声を基に持ちやすくデザイン企画した商品です。

もう一つは、関連製品・新分野開発商品部門で「メタル丼フラー」です。この商品は、前回受賞したメタル丼を、デザインを変えて、オリジナリティーを重視し女性に受けるどんぶりということでデザインした商品です。

2点とも受賞理由はまだ聞いておりませんがコンクールの目的に合致したものと思ってあります。商品開発をひとつの方針としている弊社といたしましては非常にうれしいことで光栄に思います。この受賞を基にさらにお客様のニーズに合った燕らしい商品を開発していきます。どうぞみなさん買ってください・・・！



株式会社
カンダ

新潟県燕市杉柳912（流通センター入口）

Tel : 0256-63-4541 (代表) Fax : 0256-64-2960

E-mail : info@kankuma.co.jp <http://www.kankuma.co.jp/>

何事にも一生懸命!!
カンダは中国料理店・外食産業を
応援させていただき40年!